

2023年9月15日

各位

会社名 環境のミカタ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 渡辺 和良
 (コード: 9224 TOKYO PRO Market)
 問合せ先 取締役管理本部長 青木 克之
 電話番号 054-622-1130

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年11月15日に公表した2023年9月期(2022年10月1日~2023年9月30日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年9月期の連結業績予想数値の修正(2022年10月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,120	266	251	172	1,552.06
今回修正予想 (B)	1,836	65	30	33	240.03
増減額 (B-A)	▲283	▲201	▲221	▲139	—
増減率 (%)	▲13.4	▲75.6	▲88.1	▲80.4	—
(参考) 前期実績 (2022年9月期)	1,958	156	139	99	896.36

2. 修正の理由

2023年9月期の売上予算は、ここ数年の売上の好調さを踏まえ、アグレッシブプランでの売上予算としましたが、原材料、エネルギー及び食料品等の物価の上昇や半導体部品不足によるメーカーの生産調整の実施等もあり、プラスチック関連廃棄物(RPF資材)の排出量が減少したことから、産業廃棄物売上の予算との乖離が大きなものとなり、売上高予想は、2,120百万円から1,836百万円になる見込みです。

売上予算未達の中、電力料金や原油価格の高騰により売上原価は対前年で大幅に増加する状況となったことから、売上原価の削減に取り組んでまいりましたが、限定的にとどまり、売上原価率が悪化、売上総利益の予算711百万円に対し508百万円になる見込みです。

営業利益は、今後の営業展開のため積極的に人材の採用、M&Aに取り組んだことから、各種の支払手数料が予算比8百万円増加したこと等により、予算266百万円から65百万円となる見込みです。

経常利益は、2024年4月稼働を予定しているRPF固形燃料製造施設の増設に係る費用をシンジケーション方式によるグリーンローンで調達したことから同ローンに係る手数料が予算比21百万円増加したこと等により、251百万円から30百万円になる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益については、シーピーセンター株式会社の全株式取得に伴う特別利益(負ののれん発生益)が生じる見込みですが、当該影響につきましては、今回予想値には含めておらず、今後、金額が確定次第お知らせ致します。

- (注1) 本資料に記載されている予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。
- (注2) RPF 固形燃料製造施設の増設に係るシンジケートローンについては、2023年3月15日付「(開示事項の経過) 固定資産の取得に伴う「シンジケーション方式によるグリーンローン」による資金調達のお知らせ」をご参照ください。
- (注3) シーピーセンター株式会社の全株式取得については、2023年5月15日付「株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上